

中央区文化・国際交流振興協会だより



佃大橋と大きな虹 写真提供：一般社団法人中央区観光協会

● 特集 ●

ウクライナを身近に感じてみよう！

アナスタシア ポリシュチュク

■ 令和5年度の事業計画と予算

■ 中央区 ひと 粋・活き イチマス田源 呉服問屋ミュージアム 株式会社 田源



Since 1991

2011年に米国に留学していた時、ウクライナの存在が広く知られていないことに気づきました。数年後、ロシアによるクリミア併合やウクライナ東部への侵攻が国際ニュースで報じられ、世界中がウクライナについての認識を深めるようになりました。ただ、その際に得られた知識は主に地理的な情報やロシアとの関連にとどまりました。文化や社会についての情報は少なく、ウクライナ人にとっては異質に映ることがありました。結局、当時、世界中の多くの人々が独立国であるウクライナについてほとんど知識を持っていなかったと思います。

では、その時期の日本はどうだったのでしょうか。私は、2018年の秋に来日し、ウクライナに関するステレオタイプを超えた情報が少なかったという印象を受けました。そのため、日本滞在中にウクライナについてのプレゼンテーションの機会があれば、いつも喜んで引き受けます。この貴重な機会は、ウクライナの面白さや重要性を伝えるための道であり、文化や心のつながりを築くチャンスです。11月に中央区文化・国際交流振興協会で発表をすることになった時、私はそう思ったのです。

さて、ウクライナについて、皆様に理解していただきたいことは何でしょうか。

アナスタシア ポリシュチュク



中央区文化・国際交流振興協会主催

ボランティア研修会

ウクライナを身近に感じてみよう!



令和4(2022)年11月25日開催のCCIEAボランティア研修会。日本で国際関係を研究されているアナスタシア ポリシュチュク氏による講演は、豊富な映像と楽しいお話しで参加者の心に届く内容でした。

そこで語り尽くせなかった点も含めて、あらためてウクライナについてご寄稿いただきました。ご一読され、東欧の国ウクライナに思いを馳せてみてください。



アナスタシア ポリシュチュク氏

ウクライナ、ジトーミル出身。

2018年9月来日後、東京外国語大学の研究生として留学。

2020年4月より 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科の博士課程プログラムに在籍中。趣味はヨガ、ランニング、ハイキング。



まず、よく知られている情報から始めてみませんか。

ウクライナの首都は何処でしょうか。ご存知ですか。非常に簡単な質問ですが、ちょっとした仕掛けがあります。正解はキーウです。キエフではありません。この点について、多くの人々が「しかし、地図や本にはキエフという地名が記載されている」と言わんばかりに眉をひそめるかもしれません。しかし、多くのウクライナの地名は、ロシア帝国とソビエト連邦の時代に世界に知られるようになったことを思い出せば、戸惑ったり驚いたりすることはないでしょう。2022年2月までは、ロシア語からの翻訳が残念なことに一般的でしたが、ロシア侵攻が始まってから、日本を含む世界中でウクライナ語の地名を利用するようになりました。そのため、日本語での地名もキエフからキーウに、チェルノブイリから Cholnobyry に、ハリコフからハルキウなど、変わってきたのです。

「なるほど、でも、キリル文字はロシア文字ではないのか。そして、基本的に同じ言語を話しているのではないのか」と考える人もいます。確かに、東欧の多くの国がキリル文字を使い、共通の語彙もあります。しかし、ウクライナ語とロシア語を比較すると、これらの地域ではウクライナ語との類似

「なるほど、でも、キリル文字はロシア文字ではないのか。そして、基本的に同じ言語を話しているのではないのか」と考える人もいます。確かに、東欧の多くの国がキリル文字を使い、共通の語彙もあります。しかし、ウクライナ語とロシア語を比較すると、これらの地域ではウクライナ語との類似



大学の時代：キーウ



ふるさと：ジトーミル

性が最も高いのはベラルーシ語、ポーランド語、スロバキア語であるとされています。また、キリル文字はロシア文字ではなく、北マケドニアに生まれ、ブルガリア帝国を経てキーウ・ルーシ（キエフ大公国）に広まり、多くの言語で利用されているアルファベットです。さらに、それぞれの言語には、その言語固有の特殊な文字が存在します。ウクライナ語では、「ї」（イー）と「є」（イェー）の特殊文字があります。この文字に関連して、ウクライナの小学生なら誰でも知っている詩が浮かんできます。

一番大事なことではないのかもしれないが、子どもであるあなたの使命は「ї」の小さなろうそくを小さな手のひらで守ることだ。また、つま先立ちで背伸びをして糸と一緒に夜空から切り取った「є」の月の三日月を守ることだ。（イヴァン・マルコヴィチ）

おそらく、この詩行を読み、「なぜ、月の三日月とろうそくのようなこの文字が保護されなければならないのだろう」と思う人がいるかもしれません。では、歴史を少し振り返ってみましょう。何世紀もの間、ウクライナの地を支配していたロシア帝国は、ウクライナ語を禁止し、ウクライナ語での書物を著す作家や詩人が自由と命を失う危険にさらされました。そのため、多くのウクライナ人にとって、ウクライナ語を世界に知ってもらうことは非常に重要なことなのです。何世紀にもわたって征服戦争が起こっていても、ウクライナ人の文化や伝統を守る上で言語は大いに役立ってきたのです。

ウクライナの言語だけでなく、民族衣装、料理、祭りや儀式も、国の記憶を伝える重要な要素

となっています。これらの要素について少しご紹介させていただきます。

ウクライナの民族衣装と言えば、すぐに思い浮かぶのはヴィシヴァンカです。ヴィシヴァンカとは、ウクライナ各地域に特有の様子が施された刺繍（ししゅう）シャツであり、「ウクライナ人の遺伝暗号」とも称されます。現在は機械刺繍のシャツが一般的ですが、私の家族のように祖母が手刺繍したシャツを所有しているウクライナ人も少なくありません。ヴィシヴァンカは、過去とのつながりだけでなく、現在の出来事も刻まれる記憶の象徴でも



ウクライナ人はヴィシヴァンカを一枚以上もっている

もあります。最近では、ウクライナ軍の軍服を連想させる刺繍模様のカーキ色のヴィシヴァンカが人気を集めています。これはまさに国の遺伝暗号ですね。

次に、ウクライナ料理についてお話しします。ウクライナ料理とは何でしょうか？おそらく多くの人が思い浮かべるのはボルシチでしょう。ボルシチは世界的に有名な料理とはいえ、ウクライナ料理や文化の一部として認知されるようになったのは最近のことです。ボルシチも地名や他の文化現象と同様に、ロシア帝国とソビエト連邦の物語を通じて初めて世界に知られるようになりました。ボルシチの料理文化がウクライナの無形文化遺産としてユネスコに登録されるまで、

「ボルシチ戦争」と呼ばれる議論がメディアベースで繰り返されました。このような背景から、植民地時代の物語に逆らって文化遺産を保存することは容易ではないと考えられています。

ウクライナ料理にはボルシチ以外にも美味しい料理があります。例えば、ヴァレーニキーという日本の水餃子（ぎょうざ）に似た料理です。餃子とは異なり、中身には挽肉（ひき）やえびではなく、カッターチーズ、ジャガイモ、チェリーやブラックベリーが入っています。手作りは時間が



ビーツのスープ：ボルシチ（ユネスコ遺産）

デルニイ



かかりますが、フルーツを入れたヴァレーニキーは試してみる価値があります。もう一つの例を挙げると、デルニイというウクライナのジャガイモパンケーキは非常に美味しいと思います。ウクライナ北部では一般的な料理であり、デルニイ祭りでも行われます。日本でも材料が手に入りやすいので、ぜひ挑戦して作ってみてください。

続いて、祭りや儀式について少し語ります。イースターは、ウクライナで人気のある祝日です。その日には、イースターの準備として「プーサンカ」や「クラージュンカ」という蠟結染め技術^{ろうけつ}で飾られた卵を作り、「パスカ」というイースターパンを焼いたりします。この習慣は古代に遡り、春の再生と生命の祝福を表すものです。キリスト教の到来後、この習慣は新たな宗教的な伝統と結びつき、ウクライナの復活祭には不可欠な要素となりました。

ウクライナ人にとってもう一つの特別な祝日であるクリスマスは、キリスト教と異教の儀式も混ざり合っています。ウクライナのクリスマスイブには、亡くなった先祖の魂がご馳走^{ちしう}を食べに来ると信じられ、テーブルには料理やカトラリーが残されます。そしてクリスマスの朝、子供や若者たちは天使や悪魔、ヤギ等の仮装をして、クリスマスソングを歌いながら家々を回ります。子供の頃、私はこの伝統が大好きでした。玄関のベルを鳴らし、歌を歌うと、おやつや少しのお金をもらえるのです。

次いで、聖ニコラス祭とイヴァナクバラ祭りという、私の好きな祝日を紹介します。ウクライナの聖ニコラス祭では、おじいさんの聖ニコラスから良い子にプレゼントが枕の下に届きますが、やんちゃな子には棒が置かれることもあります。子供の頃、私は聖ニコラス（つまり両親）が枕元にプレゼントを置いてくれるのをのぞき見したいと思いましたが、一度も見ることはありませんでした。

イヴァナクバラ祭りでは、女の子たちが花輪を作り、水に流します。花輪が水に浮かぶと、その女の子は今年一年を恋人と過ごす兆しとされます。花輪が沈んでしまった場合、その女の子は一人で一年を過ごすと思われ



ウクライナ人のクリスマス



イヴァナクバラ（7月7日）

れています。カップルが運命を知ろうと思う場合、手をつないで祭りの焚き火を飛び越えることができます。手を離さずに成功すると、そのカップルは今年一緒に過ごし、手を離すと、別れる可能性が示唆されます。また、イヴァナクバラの夜だけシダの花が咲くという伝説もあります。この花を見つけた者は、望む世界の力を手に入れることができると言われています。イヴァナクバラ祭りは、魔法のような雰囲気、夏の楽しさ、高揚感に満ちたお祝いです。上記の迷信や伝説を真に信じている人はいないでしょうが、私や他のウクライナ人は、花輪を作ったり、焚き火を飛んだり、川辺で歌を歌ったりして、数時間だけおとぎ話のような世界に浸るのが好きです。

最後に

理由は様々ですが、ロシアの本格的な侵攻が始まる前は、世界にウクライナは、ほとんど知られていませんでした。最近では、その状況が少し変わってきています。こうした文化交流や情報発信を促進して下さる皆さんに、心から感謝しています。

ただ、考えてみると、ある国が知られるようになるには、戦争や何か大きな災害が起きることが必要となるということはお変なことですよね。なので、ぜひウクライナやまだあまり知られていない国々にも興味を持ってみてください。もちろん、日常生活ではそれが難しいかもしれませんが、機会があれば、新しい料理や言語、文化に触れてみることをおすすめします。できることなら、その国を訪れるという冒険も考えてみてください。

最後に、ウクライナが勝利したならば、ウクライナによろこそと言いたいですね。ウクライナの刺繍シャツを着てみたり、ホルシチやヴァレーニキーを食べたり、イースターのパスカを味わったり、焚き火を飛び越えたりするのはいかがでしょうか。勝利の後、ウクライナでお待ちしております。日程は勝利の後ですね。

令和5年度の事業計画と予算の概要をお知らせします。
事業内容の詳細は決まり次第、協会のホームページや
区のおしらせに掲載してまいります。

令和5年度事業計画

文化振興事業

1 機関誌発行・ホームページの管理運営

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を定期的に発行するとともに、スマートフォンにも対応できる協会ホームページを活用して、協会の事業紹介や最新のイベント情報をお知らせいたします。

機関誌

部数：5,500部 A4判

発行回数：年2回発行（7月－79号 12月－80号）

ホームページ

URL：<https://www.chuo-ci.jp/>

2 芸術・文化の普及

(1) コンサート

親しみやすい音楽鑑賞の機会を提供し、区民の文化活動の推進を図ります。

開催予定：令和5年9月8日（金）午後6時45分開演

会場：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」

内容：コンサート2023

出演者：未定

参加費：2,000円

定員：400名（予定）



令和4年度コンサート

(2) 文化講座

中央区に縁のある文化や芸術、歴史等をテーマに専門家による連続講座を開催し、理解を深めるとともに、区民の文化意識の向上を図ります。

開催予定

第1回：令和5年10月5日（木）

第2回：〃 10月12日（木）

第3回：〃 10月26日（木）

各回とも午後6時45分～8時15分

会場：本の森ちゅうおう多目的ホール

内容：～時代小説、時代劇の中心地～江戸の暮らしと八丁堀に迫る

講師：未定

参加費：無料



令和4年度文化講座

定員：各回80名（予定）

(3) 特別文化講演会

美術館・博物館で開催される展覧会に関連した講演会を、NHKとの共催により年3回程度開催し、区民の文化意識の向上を図ります。

なお、聴講した各受講者には、NHKから展覧会の入場券（1枚）が贈呈されます。

①東京国立近代美術館「ガウディとサグラダ・ファミリア展」

開催日時：令和5年6月15日（木）午後6時50分開演

会場：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」

演題：「ガウディとサグラダ・ファミリアーこの聖堂は、なぜ、どのように、生まれたの？」

講師：鳥居 徳敏（神奈川大学名誉教授）

参加費：無料

参加者：357名

2回目以降は未定



令和5年度特別文化講演会

(4) 古典芸能鑑賞会

中央区に深い関わりをもつ古典芸能を鑑賞する機会を提供し、伝統文化に対する愛着心を育むとともに、その継承・普及を図ります。企画・制作は、中央区を中心に活動する古典芸能実演家で構成する「中央区古典芸能の会」に委託しています。

開催日時：令和5年6月3日（土）午後5時開演

会場：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」

内容：講話「伝馬町牢屋敷物語」、舞踊 清元「老松」、落語と獅子舞「強情炎」、演奏 宮園節「ほおずき」、舞踊 常磐津・長唄「身替座禪」

参加費：2,000円（中学生以下は1,000円）

参加者：303名（中学生以下3名を含む）



令和5年度古典芸能鑑賞会

(5) 文化推進事業助成

中央区内の文化活動を一層振興していくため、区民等による文化活動等に対し、その経費の一部を助成するとともに、後援を行います。

①文化創造・発信事業助成

助成金額：当該事業の対象経費の9/10の範囲内（上限200万円）

②文化団体活動助成

助成金額：当該団体活動の対象経費の1/2の範囲内（上限40万円）

③文化推進事業助成

助成金額：当該事業の対象経費の1/2の範囲内（上限10万円）

※令和5年4月1日現在

(6) 中央区まるごとミュージアム

区民や来街者が区内各所で行われるさまざまな文化事業を体験できる総合的な文化イベントを中央区と共催で開催します。(16回目)

開催予定: 令和5年11月5日(日)

会場: 中央区全域

(7) 文化振興プロデュースチーム

「中央区文化振興プラン」の提言(平成20年度3月)に基づき、区民(企業、NPO等を含む)の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、中央区と協会が協力して平成20年度に文化の専門家等からなるプロデュースチームを設置しました。今後も、区内の文化事業のさらなる充実・発展に資するため、適宜助言をいただいております。

構成員: 6名(検討項目によって委員を追加します。)



令和4年度国際交流サロン

(3) 日本語教室

日本語でのコミュニケーションが困難な区内在住・在勤の外国人等(以下「学習者」という。)を対象に、ボランティアが日本語を指導する(以下「日本語ボランティア」という。)協会主催の教室を運営します。

このほか、年々増え続ける教室参加希望者やその多様化に対応するため、日本語ボランティアが主催する各教室に対して、運営に要する経費の助成や後援名義の使用、学習者紹介等の支援も行っています。

[協会主催の日本語教室]

教室	①水曜日教室	②木曜日教室	③土曜日教室
開催予定	毎月第1・2・3水曜日 (8月を除く)	毎月第1・2・3木曜日 (8月を除く)	毎月第2・3・4土曜日 (8月は第2・3土曜日を除く)
	午後6時30分~8時	午前10時~11時45分	午前10時~11時45分
会場	男女平等センター 「ブーケ21」	協会講習室または 新富区民館	協会講習室または 新富区民館



令和4年度日本語教室

[協会が支援する日本語教室]

教室	①ワールドフレンズ 日曜にほんごクラブ	②日本語 おたすけたい	③月島日本語倶楽部
開催予定	毎週日曜日	月曜日(月3回)	毎週火曜日
	午前10時~11時30分	午後7時~8時30分	午前10時~11時50分
会場	日本橋社会教育会館	日本橋社会教育会館	月島社会教育会館
教室	④日本語コミュニケーション パートナー	⑤銀座日本語教室	⑥にこにこ日本語
開催予定	火曜日(月3回)	毎月第1・2・3水曜日 (8月を除く)	木曜日(月3回)(8月を除く)
	午後7時~8時30分	午前10時~11時30分	午後7時~8時30分
会場	新富区民館	築地社会教育会館	佃区民館
教室	⑦にほんご生活		
開催予定	毎週土曜日		
	午後2時~3時30分		
会場	築地教会 別棟		

※⑦の教室は、4月より月1~2回対面授業を再開し、その他はオンラインで実施。

国際交流振興事業

(1) 国際交流のつどい

外国人と日本人との交流を推進するため、日本の伝統文化等を紹介するとともに、外国文化にも触れられる交流イベントを開催します。

開催予定: 令和5年11月18日(土) 正午~午後4時

会場: 築地社会教育会館

内容: 伝統文化体験コーナー、防災コーナー等

(1) INTERNATIONAL EXCHANGE PARTY

This event is to be held once a year to promote cultural exchange as well as deepen mutual understanding between Japanese and foreign residents. Please come and experience Japanese traditional culture and various attractions!

Date & Time: Sat, November 18, 2023 12:00 – 16:00

Place: Tsukiji Social Education Center

Events: Experiences of Japanese traditional culture, Disaster Preparedness, etc.



令和4年度国際交流のつどい

(2) 国際交流サロン

区内在住・在勤・在学の外国人と日本人が、日本の文化等を体験できるイベントを通じて交流を楽しめる場を提供します。

開催予定: 毎月1回(年11回)原則として土曜日の午後

会場: 男女平等センター「ブーケ21」ほか

内容: 海苔、和菓子、茶道、ニュースポーツ、防災等

(2) INTERNATIONAL EXCHANGE SALON

With the help of International exchange salon volunteers, we'll hold various events on cultural experiences where both Japanese and foreign residents can enjoy free and open communication.

Time Schedule: Once a month (11 times a year), basically on Saturday afternoon.

Place: Gender Equality Center “Bouquet 21”, etc.

Events: Seaweed, Japanese Sweets, Tea Ceremony, New Sports, Emergency Drill, etc.

(3) JAPANESE LANGUAGE CLASSES

Chuo Cultural and International Exchange Association (CCIEA) offers Japanese Language classes by volunteer teachers. Besides, we sponsor the classes which are hosted by volunteers to accommodate the increasing number of participants and diversifying needs.

I Japanese Classes that we host:

Class	① Wednesday Class	② Thursday Class	③ Saturday Class
Schedule	The 1st, 2nd & 3rd Wednesdays (Except August)	The 1st, 2nd & 3rd Thursdays (Except August)	The 2nd, 3rd & 4th Saturdays (Except the 2nd & 3rd Saturdays in August)
Time	18:30~20:00	10:00~11:45	10:00~11:45
Place	Gender equality Center "Bouquet 21"	CCIEA Office Lecture Room or Shintomi Community Hall	CCIEA Office Lecture Room or Shintomi Community Hall
Fee	About ¥2,500 (no fee for the lesson, only for the textbook)		

II Other Japanese Classes that we sponsor:

Class	① World Friends Sunday Japanese Club	② Nihongo Otasuketai	③ Tsukishima Nihongo Club
Schedule	Every Sunday	Monday (3 times per month)	Every Tuesday
Time	10:00~11:30	19:00~20:30	10:00~12:00
Place	Nihonbashi Social Education Center	Nihonbashi Social Education Center	Tsukishima Social Education Center
Class	④ Partners of NIHONGO Communication	⑤ Ginza Japanese Language Class	⑥ NIKO NIKO NIHONGO
Schedule	Tuesday (3 times per month)	The 1st, 2nd & 3rd Wednesdays (Except August)	Thursday (3 times per month) (Except August)
Time	19:00~20:30	10:00~11:30	19:00~20:30
Place	Shintomi Community Hall	Tsukiji Social Education Center	Tsukuda Community Hall
Class	⑦ Nihongo Seikatsu		
Schedule	Every Saturday		
Time	14:00~15:30		
Place	Tsukiji Church Annex		
Fee	Fees differ depending on the class.		

※ Class ⑦ resumed face-to-face lessons once or twice a month in April and other lessons are held online.

(4) 日本語指導者養成講座

日本語教室受講希望者の増加に対応するとともに、協会やボランティアが主催する教室活動を充実させるため、将来の日本語ボランティアを養成する協会独自の日本語指導者養成講座を開催します。

開催予定：令和5年6月～9月、全44時間

会場：新富区民館

講師：西川 寛之（明海大学外国語学部准教授）

受講者数：27名

(5) 日本語ステップアップ講座

各教室で活動する日本語ボランティアの学習需要に対応するとともに、指導力・技法のレベルアップを図ります。

開催予定：年間7回（14時間）

①初心にかえて考える これからの教室活動

開催日時：令和5年7月8日（土）

午後5時45分～8時45分

会場：新富区民館

講師：西川 寛之（明海大学外国語学部准教授）

受講者数：29名

2回目以降は未定

(6) ボランティア活動支援

協会登録ボランティアの資質向上と活動支援のため、研修会を開催します。

また、中央区から依頼があったとき、協会登録のボランティアを区の事業等に派遣します。

ボランティアの種類及び登録者数(令和5年3月末日現在)

登録者数：312名（実人員）

①通訳・翻訳ボランティア：92名

②イベントスタッフボランティア：166名

③日本語ボランティア：195名

④国際交流サロンボランティア：12名

⑤防災語学ボランティア：55名

ボランティア研修会

開催予定：年間2回

(7) 姉妹都市親善写真展

中央区と姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市との親善を一層深めるため、お互いの生活や風景、行事等を紹介する写真を交換し、写真展を開催します。

開催予定：令和6年1月～2月

会場：3箇所で開催（区役所、日本橋区民センター、月島区民センター各1階）

(8) 国際交流推進事業助成

協会の目的である国際交流を振興するため、区民が主体となっていく国際交流事業に対して事業の実施に要する経費の一部を助成及び後援します。

助成金額：当該事業の対象経費の1/2の範囲内

（上限10万円）

令和5年度予算

<収入>

科目	予算額（円）	説明
事業収入	1,405,000	コンサート、古典芸能鑑賞会参加費等
区補助金	121,110,000	区からの補助金
寄付金	1,000	
雑入	1,000	預金利子
収入合計	122,517,000	

<支出>

科目	予算額（円）	説明
事業費	79,530,000	
文化振興費	73,628,000	文化振興事業に要する経費
国際交流振興費	5,902,000	国際交流振興事業に要する経費
管理費	42,487,000	
人件費	38,863,000	職員の給与に関する経費
管理運営費	3,624,000	理事会、事務費等
予備費	500,000	
支出合計	122,517,000	

株式会社 田源

イチマス田源・呉服問屋ミュージアム

近江で創業して207年。
日本橋の賑わいを支え続ける呉服問屋が
間口を広げて、和文化を伝えていきます。

明治4年、日本橋堀留町に店を構えた「イチマス田源」。昭和・平成・令和と変わりゆく日本橋問屋街を見続けてきた、6代目と7代目にお話を伺いました。

日本橋堀留町界限はどのように変わってきましたか？

6代目：江戸の頃から日本橋はたくさんの方が行き交う大商業地です。その表舞台が三越のある日本橋のたもと界限。その賑わいを支えるのが、私たち裏方の織物問屋街です。同じ問屋街でも、横山町のほうは現金問屋、堀留町は帳面でやりとりする信用取引が常で、全国から買い付けに来るデパートや地方の着物屋さんがお取引相手。繁盛のピークは昭和35～45年頃で、日本中の奥様が絹の着物を欲しがり、仕入れても仕入れても着物が足りないほどでした。平日は道路が運送のトラックで埋め尽くされていました。当時800軒ほどあった問屋も、今では50軒足らず。平成に入り、街の風景はずいぶん変わりました。接待で使われていた寿司屋や鰻屋、麻雀店なども姿を消しました。

そんななかでも問屋街の顔として店が続いていく秘訣はなんでしょうか？

7代目：日本橋にはいろいろな老舗がありますが、メーカーや職人の店と問屋業はちょっと違って、時代にあわせて商材

や得意先を変えられます。昭和の後半に、会長が着物だけでなく毛皮や宝石を扱ったことも功を奏しましたし、呉服問屋という荒っぽい業界にありながら真面目に商売していたことが、今に続いていると思います。

老舗ならではのといえば、当社が代々「田中源治」を襲名されています。

6代目：初代は次男で「源次」という漢字でしたが、明治になり「源治」に。5代目は襲名前が「源三」、私は「源一」、息子は今「源一郎」ですが襲名すれば「源治」になります。通り名ではなく戸籍上の名前が変わります。襲名制を長年続けている家は、役所ですぐに受理されるんですよ。

今後は、どのような商いを？

7代目：着物の着方などに目を光らせる“着物ケーサツ”がいなくなり、着物にブーツを合わせたたり、浴衣と洋服を重ねたり、自由な発想で和文化を楽しめる時代がきました。「そうは問屋がおろさない」とも言いません（笑）。実家にある着物をメンテナンスしたい、和柄の雑貨をつくりたいなど、気軽に相談いただけるよう間口を広げ、若い世代と自由に和を楽しんでいきたいですね。「しまつてきばる」という近江商人の言葉があります。節約して頑張るという意味です。この言葉を胸に、200年以上続いた店と和の文化を、つないでいきたいと思っています。



●プロフィール

左：会長で6代目の田中源治さん。ギターが趣味で今もバンドで活動中。右：社長で7代目の田中源一郎さん。グラフィックデザインが得意で様々な販促物などのデザインも手がけています。

●イチマス田源 呉服問屋ミュージアム

東京都中央区日本橋堀留町2-3-8
☎ 03-3661-9351
<https://ichimasutagen.shopinfo.jp/>
年末年始等を除く毎日（不定休あり）
10：00～17：30
小伝馬町駅1番出口 徒歩3分
人形町駅A4番出口 徒歩5分
●中央区まちかど展示館 ウェブサイト
<https://chuoku-machikadotenjikan.jp/>



中央区文化・国際交流振興協会役員名簿

(令和5年7月12日現在)

理事長	三田 芳裕	中央区観光協会副会長
副理事長	田中 智彦	中央区副区長
理事	武中 雅人	東京商工会議所中央支部副会長
〃	柴川 賢	中央区商店街連合会会長
〃	森山 照明	中央区工業団体連合会会長
〃	前田 光弘	東京日本橋東口ターミナルクラブ会長
〃	五味 達夫	東京銀座ライオンズクラブ元会長
〃	塚本 和隆	京橋地域町会連合会会長
〃	高橋 伸治	日本橋地域町会連合会会長
〃	滝浪 誠	月島地域町会連合会会長
〃	石本 正幸	中央区文化連盟連絡協議会会長
〃	木本 慎一	中央区体育協合理事長
〃	青柳 聖真	中央区PTA連合会会長
〃	外川 隆司	東京青年会議所中央区委員会委員長
〃	濱田 徹	中央区区民部長
〃	生島 憲	中央区教育委員会事務局次長
監事	竹沢り子	中央区まちかど展示館運営協議会会長
〃	山崎 健順	中央区会計管理者

表紙 佃大橋と大きな虹

写真提供：一般社団法人中央区観光協会

コロナで中止や縮小していた文化イベントや国際交流活動が戻りつつあります。うれしい限りです。一方、いま中央区は、築地市場跡地の再開発や地下鉄新線計画、晴海選手村跡地での新たなまちづくりなど、未来に向けて大きく動きだしています。これら新旧のまちを結び、つなぐものは中央区の多彩な文化にほかなりません。わたくしども協会は、これからも区内文化の振興・発信に努めてまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

特集は、ウクライナから来日し早稲田大学大学院で国際関係を学ばれているアナスタシア氏に、昨年11月に開催したボランティア研修会で「ウクライナを身近に感じてみよう!」と題して講義していただきましたところ大変好評でしたので、講義に関連した内容について語りつくせなかった点も含めて寄稿していただきました。

「ひと 粋・活き」では、中央区が誇る文化資源を紹介する「中央区まちかど展示館」の一つであり、創業200年余の歴史を誇る呉服問屋イチマス田源 呉服問屋ミュージアム株式会社田源6代目店主会長の田中源治氏と社長の田中源一郎氏にお話を伺いました。